いよぎん IYOBANK GLOB/ HHHHHHH **三**伊予銀行

IYOBANK GLOBAL REPORT (特別編)

ベトナムの日系工業団地とコロナ第4波について

~当行海外駐在員からの現地最新情報~

今回はグローバルレポートの特別編として、当行海外拠点の現地駐在員から、コロナ渦におけるベトナム日系工業団地の日常や現地の最新情報をお伝えします。





ベトナム(Viet nam)の概要

【人口】9,734万人 【出典】世界銀行 【面積】約331,690km (日本の0.88倍) 【首都】ハノイ 【通貨】ドン(VND)

▲当行の現地駐在員が滞在している工業団地

1. はじめに

皆さんはベトナムにある日系工業団地と聞くと、どのようなイメージをお持ちになりますか。インフラは十分整備されており、快適に操業出来そうだ。いやいや、日系工業団地と言ってもベトナムだから、そこまで期待出来るものではないだろう、など様々でしょうか。

私は現在、ベトナム南部の工業都市ドンナイ省にある、日系レンタル工場に勤務しており、入居企業約50社のうち、約30社が日系企業となっています。本稿では、日系工業団地の日常について、コロナ感染状況を踏まえながらお伝えしたいと思います。



▲レンタル工場 約50社が入居している

2. 工業団地の日常

【レンタル工場とは】

レンタル工場とは、名前の通り賃貸する工場です。生産に必要な工場建屋やインフラが既に整備されているため、企業は内装工事と機械設置を行うだけで操業を開始することが出来ます。そのため、自社工場に比べて初期投資を抑えることができ、素早く操業を開始することが可能です。ちなみに私の勤務先では、1つの長屋式の建屋を区切って共有で利用しています。

レンタル 工場とは?



2. 工業団地の日常

【レンタル工場の良い点・悪い点】

日系レンタル工場の良い点は、工業団地内に日本人の仲間がいる、ということです。レンタル工場には中小企業が入居しているため、日本人駐在は社長1人というケースがほとんどで大変孤独です。そんな時に同じ悩みを共有し相談できる日本人が近くにいる、というのはレンタル工場の1番の魅力です。1社毎の経営資源は限られていまかるため、トラックやフォークリフトなどの機材の貸し借りし、端材や技術の提供、もちろん取引なども行い、互い助け合いながら事業を行っています。

反対に悪い点は、入居企業同士のご近所トラブルです。レンタル工場には日系企業だけでなく、外国企業も入居しているため入居企業同士のマナーに関するトラブルが頻発します。具体的には、隣の企業の音楽や工事の音がうるさい、従業員のバイクがうちの工場まではみ出している、向かいの企業からゴミが飛んで来る、などです。こういったご近所トラブルは、レンタル工場ならではの悩みと言えます。



▲のどかな街並み

【インフラ】

インフラについては、電気や上下水道など工業団地側が整備をしますが、ベトナムはまだまだインフラは弱くトラブルが多いです。中でも、電力事情は顕著で停電が頻発しています。私がレンタル工場に勤務して約1年になりますが、2~3ヶ月に一隻は停電となるイメージです。停電の一番の理由は落雷ですが、中にはヘビが電線を噛んだなど、何とも言い難い理由もあります

停電時間は、10秒程度の瞬間停電から長ければ2時間程度になることもあります。レンタル工場の入居企業は、自社でバックアップ電力を確保する余力は無いので、数ケ

月に一度は停電による生産ロスが発生することを考慮しておく必要があります。また、停電で機械が急停止すると、故障や事故に繋がるため、雷が鳴り始めると機械をいったん停止させる、などの工夫をしている企業もあります。

【人材】

ベトナム人材については、技能実習制度を 通じて日本で勤務経験のあるベトナム人が増 え、ワーカーレベルでも片言の日本語が通じ る人が増えており、労働者の日本語レベルは 底上げされています。ベトナム人は真面目で 優秀な人が多くいるのは事実ですが、皆さん が日本で接している技能実習生と比較すると 現地の労働者の水準は数段階下がります。

現地で人材採用をすると驚かされることが 3点あります。①履歴書の改ざん、②時間に ルーズ、③転職志向です。まず履歴書につい てですが、ベトナム人は履歴書に自分の都合 の悪いこと、例えば短期間で会社を辞めた場 合などは意向的に記載しないことが多くなっ 合などは意向的に記載しないことが多くなっ ため、経歴に空白が多い場合 はもちろん、前職でどんな仕事をしていたか しっかりヒアリングし、職務経歴が正しいか 確認することが必要です。余談になります。 履歴書の写真もプリクラ風ピースサイン写真 を載せるなど、日本人が意識する「第一印象」 とはかけ離れています。

次に時間についてですが、ベトナム人はとにかく時間にルーズです。採用面接の遅刻はまだ良い方で、ドタキャンは日常茶飯事です。せっかく採用を決めても、入社までにもっと条件の良い企業に就職し、何の連絡も無く入社日に来ないことも普通です。

ベトナム人は転職志向が強く、自分のキャリアアップに繋がるのであれば躊躇無く転職します。自分にとって嫌な職場であっても同様です。私の同僚は入社後半年で退職しましたが、退職の挨拶にて「長い間お世話になりました」と話していたのはとても印象的で、時間軸の違いを痛感させられました。



▲日本でも人気なべトナム料理「フォー」

3. 工業団地の日常(コロナ第4波以降)

【コロナ第4波発生】

ベトナムでは、4月27日から始まったコロナ第4波に歯止めがかかっておらず、本稿執筆時点での感染者数87万人を越え、1日1万人ペースで増加しています。感染が最も深刻なホーチミン市では、スーパーやコンビニ、医療機関以外は全て閉店し18時以降の外出は禁止、買い物は週2回までに制限されていましたが、8月23日からは買い物も含めて外出が一切禁止になる完全ロックダウンとなりました。



▲コンビニ店頭の食品売り場も品薄状態が続く

【工場合宿】

このような厳しい環境化ですが、ベトナム 政府は重要産業である製造業に対して、一容 のルールを守ることで工場の操業継続を容べしてきました。現在、ホーチミン市など寝 してきました。現在、ホーチミン市など寝 もないませて仕事には、労働者を工場の敷地内に りさせて仕事に当たらせる「工場合宿」を 業継続の条件としています。労働者が、感性と に感染して、社内でクラスターが感性に が発生し、クラスターになる事例が相次に生 することを恐れたはずの工場で、っただ、陽性で います。私が勤務している工業団地でも が発生し、人が勤務している工業団地でも が発生した。最初の感染者は2名だけでした 1週間で300人以上に感染が広まりました。

私が勤務している工業団地でも、多くの日本人が工場合宿をしています。エアコンの無い工場にテントを張って暑さや虫と戦いながら大勢で横になるため熟睡は出来ず、食事は限られた食材を調理するか、ローカル弁当を注文しベトナム人労働者と同じ食事を取り、シャワーはトイレの水を使って水浴びをする、という過酷な生活を2ヶ月以上続けています。



▲工場での寝床(1)(エアコンなし)



▲工場での寝床② (テントを張って、暑さや虫と闘いながら生活)

【ご近所トラブル】

工業団地でコロナ陽性者が出てからは 入居企業同士のトラブルも頻発していま す。同じ敷地内に多国籍の企業が生活を 共にしているため、工場外への夜間外出 やゴミ捨て、騒音など生活モラルに関す るトラブルやSNSを通じての犯人探し(コロナ陽性者) などの非難中傷などトラ ブルが絶えません。現在、工場合宿を行 っている企業の従業員は、市中感染を防 止するため帰宅が認められていません。 長期化する工場合宿により、残してきた 家族への不安や疲労が重なって従業員の ストレスはピークに達しています。工業 団地内でのコロナ感染拡大も相まって、 従業員が帰宅を求めて暴徒化し、警察が 来て騒ぎを沈静化させるなどの事態にも 発展しています。



▲ロックダウン中のホーチミンの風景①



▲従業員が帰宅を求めて暴動化



▲ロックダウン中のホーチミンの風景②





ロックダウンとは?

一定期間、人の移動を制限したり、企業活動を禁じたりする措置を取ること。

外出できるのは真に必要な場合のみであり、「真に必要な場合」とは、食料、食品、薬品およびその他の必要不可欠な商品・サービスの購入などが挙げられる。 「真に必要な場合」に該当せず外出したものには、100万ドン~300万ドン(日本円で約4,800円~14,400円)の罰金が科される。



